資料 3

地方・地域センター病院等について

○道では、昭和44年からの独自の取組として、圏域ごとに一定の要件を備えた中核的医療機関を地方・地域センター病院として指定し、地域住民の医療の確保を図ってきたところであり、当圏域は、**「市立室蘭総合病院」**及び**「伊達赤十字病院」が指定**されている。

○「北海道地域医療構想」や新たな「北海道医療計画」では、地域における医療提供体制の更なる整備を図っていくためには、「地域センター病院等」の役割がこれまで以上に重要になるものと考えており、医療機能や医療活動などの、今後期待する役割等について医療計画等に反映させることとしている。

※ 地方センター病院
第三次医療圏の高度・専門医療機関として、特殊な疾病や高度・専門医療に対応できる医療機能を備え、専門医の派遣、技術援助など、第二次医療機関の後方医療機関としての役割を担う。

1 地域センター病院等の医療機能と医療活動（※ 地域センター病院のみ抜粋）

プライマリ・ケアを支援する第二次医療機関で、第二次医療圏の中核医療機関として、他の医療機関との機能分担や地域に必要な診療体制の確保、医師等の派遣や技術援助、研修会の開催、無医地区等への巡回診療など、第二次医療圏における中心的医療機関としての役割を担う。

地方・地域センター病院等の整備方針（抜粋）

【地域センター病院】

1 医療機能

(1)診療科等

概ね200床以上の病床数を有する病院で、内科、小児科、外科、整形外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科の各診療科が独立設置。（地域の医療事情による脳神経外科及び麻酔科を含む。）

(2)診療・検査設備

人工透析、医学的ﾘﾊﾋﾞﾘｰﾃｰｼｮﾝ、健康管理部門（人間ﾄﾞｯｸﾞ、健診部）等に要する施設設備、検査機器等

2 医療活動

(1)医師等の派遣及び巡回診療

地域の医療機関からの要請に応じ、医師等の医療技術者の派遣、無医地区等への巡回診療の実施。

(2)救急医療

第二次救急医療体制（病院群輪番制）に参加し救急医療を実施。

(3)地域の医療機関との連携

地域の医療機関からの診断治療を要する患者の受入れ、確定診断後又は緩解後の患者の転送、開放型病棟（病床）の運営、医療機器等の共同利用を行うなど、地域の医療機関との連携を図ること。

また、公立病院等の再編・ネットワーク化について、地域の医療機関と連携して取り組むこと。

(4)研究・研修

医療技術者に対する生涯教育のための研修会、情報交換の実施など、医療技術の向上に努めること。

また、医療機関・住民向け説明会の開催、広報誌等による啓発活動など、地域医療構想実現に向けて取組むこと。

2 主な実績

区分／年度	H27	H28	H29予定	区分／年度	H27	H28	H29予定
医師の派遣日数	115日	204日	200日	患者の転送数	3,884人	4,928人	4,300人
巡回診療日数	10日	10日	10日	開放型病棟の運営	未実施	未実施	未実施
救急搬送件数	2,608件	2,429件	1,283件	医療機器等共同利用	未実施	未実施	未実施
患者の受入数	6,218人	6,182人	6,200人				

※ **開放型病棟（オープンベッド）**～患者のかかりつけ医と入院先の医師が共同で、継続した患者の治療を行える病棟。

○ 地域の医師等の医療技術者に対する生涯教育のための研修会等の開催

研修等の主な名称 ＼ 年度	H27		H28		H29（予定）	
	延回数	延人数	延回数	延人数	延回数	延人数
学術講演会・臨床病理検討会（CPC）	4回	389人	3回	96人	4回	300人

○ 医療機関・住民向け説明会の開催、広報誌等による啓発活動など、地域医療構想の実現に資する取組

名称 ＼ 年度		H27		H28		H29（予定）	
		延回数	延人数	延回数	延人数	延回数	延人数
説明会	市民公開講座（室蘭）	1回	100人	2回	140人	2回	120人
	市民健康講座（伊達）	2回	335人	2回	220人	2回	200人
広報誌等	病院広報（室蘭）	4回	－	4回	－	4回	－
	病院広報（伊達）	3回	－	3回	－	3回	－

■ 地方地域センター機能強化事業（医師等派遣事業）医師派遣実績（派遣日数）　（単位：日）

年度	高度医	北見赤十字	中空知	室蘭	砂川市立	留萌	ネポーツク	十勝	富良野	十勝	釧路	合計
H27	129	189	456	115	204	12	73	114	50	109	－	1,451
H28	107	187	483	204	210	12	85	200	48	138	73	1,700

3 今後期待する役割等

地域における医療提供体制のさらなる充実を目指す上で、今後、センター病院に期待する医療機能や医療活動などの役割等について、意見を道に提出し医療計画に反映予定。

① 医療機能の充実

専門診療科の充実を図ることにより、あらゆる疾病に対応した医療機能が整備され圏域内で完結する医療提供体制を構築するため、真の中核的医療機関としての重要な役割を期待。

（循環器内科、呼吸器内科、心臓血管外科、皮膚科、耳鼻咽喉科等の専門医をセンター病院等に優先的に配置等が必要）

② 医師派遣機能の充実

圏域内の医療機関支援のため専門医を派遣する機能の充実を期待

（センター病院に優先的に医師を配置し、圏域内の医療機関への医師派遣はセンター病院から派遣する仕組みを構築）

③ 地域医療構想実現に向けた取り組み等について

圏域における中心的医療機関として、医療機関・住民向け説明会の開催のほか、広報誌等による啓発活動について積極的に取り組むとともに、地域医療構想の実現に向けた取り組みとして、医療機関の機能分化や役割分担の明確化などの協議について、地域センター病院が率先して、リーダーシップを発揮して、積極的に取り組んでいくことを期待する。

地方・地域センター病院一覧

平成24年3月31日現在

医療圏 三次	医療圏 二次	指定年度	病院名	区分	地域医療支援病院（※病院の名称を有するもの）	総病床数（H22.4.1）	住所
道南	南渡島	S59 H4	市立函館病院	●○	○	734	函館市港町1丁目10番1号
	南檜山	S44	北海道立江差病院	○	○	198	檜山郡江差町字伏木戸町484番地
	北渡島檜山	S57	八雲総合病院	○	○	358	二海郡八雲町末広町50番地
道央	札幌	-	-	-	-	-	-
	後志	S48	倶知安厚生病院	○	○	352	虻田郡倶知安町北4条東1丁目2番地
	南空知	S57	岩見沢市立総合病院	○	○	484	岩見沢市9条西7丁目2番地
	中空知	S57	砂川市立病院	○	○	521	砂川市西4条北3丁目1番1号
	西胆振	S57	市立室蘭総合病院	○	○	609	室蘭市山手町3丁目8番1号
		H1	伊達赤十字病院	○	○	374	伊達市末永町81番地
	東胆振	S57	苫小牧市立総合病院	○	○	382	苫小牧市旭小町1丁目5番20号
	日高	S48	浦河赤十字病院	○	○	278	浦河郡浦河町東町ちのみ1丁目2番1号
	北空知	S49	深川市立総合病院	○	△	270	深川市6条6番1号
道北	上川中部	-	-	-	-	-	-
	富良野	S50	富良野協会病院	○	○	255	富良野市住吉町1番30号
	留萌	S50	北海道立羽幌病院	○	○	120	苫前郡羽幌町栄町110番地
		S57	留萌市立総合病院	○	○	354	留萌市真盛町2丁目16番地
	上川北部	S58 H9	名寄市立総合病院	●○	○	469	名寄市西7条南8丁目1番地
	宗谷	S55	市立稚内病院	○	△	362	稚内市中央4丁目11番6号
オホーツク	北網	S55 H3	北見赤十字病院	●○	○	680	北見市北6条東2丁目1番地
		H1	網走厚生病院	○	○	366	網走市北6条西1丁目9番地
	遠紋	S49	広域紋別病院	○	○	150	紋別市緑町5丁目6番8号
		H1	遠軽厚生病院	○	○	337	紋別郡遠軽町大通北3丁目1番5号
十勝	十勝	H11	帯広協会病院	○	○	377	帯広市東5丁目南9丁目2番地
		S54 S54	帯広厚生病院	●○	○	749	帯広市西6条南8丁目1番地
釧路・根室	釧路	S57 H4	市立釧路総合病院	●○	○	643	釧路市春湖台1番12号
	根室	H1	市立根室病院	○	○	131	根室市有稀町1丁目2番地
		S45	町立中標津病院	○	△	199	標茶郡中標津西10条南9丁目1番地1

○：地域センター病院（上段：指定年度）
●：地方センター病院（下段：指定年度）
C：地域医療支援センター
△：地域医療支援センターと同様の機能を持つもの